

しまくとぅば継承と学校教育 —地域の言語文化を教材とする実践事例を中心に—

沖縄県による「しまくとぅば県民意識調査」では、学校でしまくとぅばを扱ってほしいとの意見が上位となっています。本研修会では、沖縄文化の基層であるしまくとぅばを学校教育の場でどのように取り扱い、子どもたちに親しみを持たせられるのかについて考えます。沖縄県内の言語事情を踏まえたうえで、沖縄県内外の優れた実践事例から学校種を超えて教員間で共有する機会とします。

対象：沖縄県小学校教員・中学校「国語科」・高等学校「国語科」担当教員

研修会内容

企画趣旨

村上呂里 琉球大学教育学部

1. 講話① 沖縄県の言語事情と学校におけるしまくとぅば指導の視点

中本 謙 琉球大学教育学部

2. 講話② 東北地方の言語事情と方言昔話を中心にした活動

—「釜石 漁火の会」の活動支援と連携から見えてきたこと—

竹田晃子 岩手大学教育学部

3. 実践事例① 内なることばを培い、〈つながり〉を育む授業づくり

琉歌創作指導の可能性を探る(中学校第3学年)

名富綾乃 沖縄県立図書館

4. 実践事例② 八重山の言葉、想いと出会う授業づくり

マリズィマ イツマディン ピカリタボリ(ふるさとずっとずっと輝いて)

波照間千夏 石垣市立石垣第二中学校

研修会をうけて

田名裕治 沖縄県立球陽中学校・

高等学校校長

会場：沖縄県産業支援センター 大ホール

2/10(土)

9:30~11:40

無料

【問い合わせ】 中本謙 琉球大学教育学部

TEL. 098 (895) 8328

E-mail. nakamoto@edu.u-ryukyu.ac.jp

【申込方法】

下記のURL、QRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/WzFLxrb3q6BJSjqf8>



申込期限 2月3日(土)

定員 60名(先着順) ※申込み後自動返信メールが届きます。

主催：琉球大学教育学部

後援：沖縄県教育委員会